

大宮南ロータリークラブ週報



No.1280・1281/第1793・1794回例会 (8. 18・25)
(2015. 9. 1発行)

創立・昭和53年6月
例会日・毎週火曜日 12:30~13:30
例会場・サンパレス

会長 龍前 篤司 副会長 高橋 正雄・藤井 フチ子 幹事 片岡 隆史
事務所・さいたま市大宮区下町2-51-8 コーポKEN406 ☎ (048) 645-0180 FAX (048) 648-2188

Be a gift to the world

世界へのプレゼントになろう

第1793回例会式次第

開会点鐘
ロータリーソング「我らの生業」
お客様紹介
会長挨拶・報告
幹事報告
委員会報告
今週の事業紹介
卓話
出席報告
ニコニコBOX報告
閉会点鐘

司会 杉村 俊明SAA

▼お客様紹介

高橋 正雄副会長

所属 : 日本山岳会 日本ヒマラヤ協会 埼玉県山岳連盟
海外登山委員会

大山 光一様

▼会長挨拶・報告

龍前 篤司会長



今年は戦後70年、そして安保法案のことも有り、いつもの年より戦争の記事、発言等が多く聞かれたお盆休みだったと感じました。しかし、70年間、戦死者が出ないということは凄いことで、ありがたいことだなあと感じます。国際ロータリー

の大きな目的の一つは我々が「世界平和のために役割を果たさなければいけない」ということだと思っています。

そして、今日のお客様は、大山光一様です。先ほどお話したのですが、ネパールの大地震の時に現地いらしたということです。大変な思いをされたお話もしてくださいませ。

もう一つお話ししたいと思っていたことがあります。この会場のサンパレスは最高だなということです。玄関を入ると

毎回エレベーターまで案内してくれ、気持ちよく例会ができます。また、夜間例会もアルピーノさん、かのうやさん、高島屋さんもあって、サッポロビールも飲めます。大宮南ロータリークラブは会場にとっても恵まれているということです。そして中の雰囲気がとても良く、自由な感じもとてもいいなあと感じます。

最後に、クラブ協議会でも、お話しさせて頂いたのですが、会員拡大は競争ではなく、いい会にするために会員を増やすという考えで、やって行きたいなと思っています。奉仕活動は身の丈に合った活動をして行きたいと思っています。そして多様性を認める組織、よそ者でも主役になれる組織、いろいろな出会いがあって、どんな人でも入ってこられるような、そんなクラブにしたいなと思っています。今年度に入り会長として活動する中で改めて思いました。皆様、ご協力よろしくお願い致します。

▼幹事報告

片岡 隆史幹事

- ・地区よりマスコット着ぐるみ貸出の案内
- ・本日は例会終了後、理事会があります。

▼今週の事業紹介

株式会社 高島屋 大宮店店長 山田 周二会員



8月25日の高島屋ビアガーデンの夜間例会には大勢のご参加、宜しくお願ひ致します。

本日は百貨店のお話を致します。世界では1852年にパリ郊外にボンマルシェが出来たのが最初の百貨店です。日本では三越さんです。我社は1831年に古着商からスタートしています。幕末の蛤御門の変の時に商品が無かったにもかかわらず暴利を食うことなく定価で販売をしたと社史にあります。まじめな会社です。百貨店は地域の商店街のために長く制約されてきました。そのうちスーパーが現れます。そして驚くことに現在は百貨店とスーパーが買収や合併をして大きな企業になっています。先のことはわかりませんが都心型の伝統のある百貨店として単独というのは、おそらく高島屋だけだと思います。昭和40年

代の半ば位に、多店舗化をし立川、大宮、柏を造りました。大宮店は昭和45年11月2日にでき、今年は45周年になります。

百貨店というのは、街の歴史と共に歩ませて頂いております。昔から馴染み親しんで便利だなあと思ひ、なんとなく集まって、情報もあり、サービスもある、そういった事を目指して行きたいと思っています。

▼卓話

所属：日本山岳会 日本ヒマラヤ協会 埼玉県山岳連盟 海外登山委員会



大山 光一様

職場の先輩に誘われて行った尾瀬のハイキングが私の登山の始まりです。その後、社会人山岳会に入って谷川岳、北アルプスなど本格的に登山を経験し、1970年代にはアラスカ、ヒマラヤ等を登りました。そして27歳で結婚し、仕事も忙しくなったため山から

離れました。50歳になった時に定年までの10年間で何が出来るか、自分の人生に納得が出来るか考えまして、会社と家庭を両立させながら山に挑むことにいたしました。体力も落ちているので基礎から始め34年かけてエベレスト、マッキンリー、キリマンジェロなどの世界七大陸最高峰に登頂しました。

「できる人はできる理由を語り、できない人はできない理由を語る」目標を掲げて取り組みば夢は叶うということを学びました。私の場合はヒマラヤに一生に一回登りたいというのではなく登る形を変えながら10年間登り続けるのが目標です。

1回目のヒマラヤ登頂はお金を掛けて学ぶことをしました。2回目からは、すべて自分で企画し登頂しています。一年前から準備をします。登山というのは下山した時に怪我などしてはいけません。しかし、自然というのは人間の思考力を遙かに超えています。人間の存在なんて無に等しいのです。ですから、すべて想定外の中に置く、元気に帰ってくるために出来ることをすべてやっておくことです。一生懸命さだけでは無事に帰ってくることはできません。求めたい成果を明確にし、達成する方法を出来る限り考え、実行するという事です。8,000メートルの山ですから無理をしないわけにはいきませんが、帰って来られない無理をしてはいけません。ペース配分は帰りに6割という考えで登ります。そして大切なのは引き際のタイミングです。

*一緒に行った人と共に怪我無く帰って来ることが登山という大山様、この後も、エベレストに登る時の事を交えながら、貴重なお話をしてくださいました。

*ネパールの大地震の時に現地にいた大山様が撮った写真を見せて頂き、その時のお話も伺いました。

▼出席報告

出席委員会 松雄 賢一委員長

会員数 39名

出席者 17名

出席率 43.59%



ニコニコBOX

17,000円

大山様、卓話ありがとうございます。2週間ぶりの例会です。皆様、ありがとうございます。.....龍前ヒマラヤ協会 大山様、すばらしい卓話ありがとうございました。.....片岡高橋・藤井・樺沢・宗象・佐藤・阪・柴田・黒白・福光・山崎大山様、ようこそ。ネパールに、また行きたくなりました。.....杉村日本ヒマラヤ協会 大山様、大変貴重なお話をありがとうございました。.....松尾・山田・清水サンパレスさん、いつも美味しい食事、ありがとうございます。.....根岸

第1794回夜間例会

8月25日

《大宮高島屋レストラン「ローズ」にて》



天候不良のためビアガーデンを諦め、高島屋レストランでの例会となりました。

